

QuickSAFER 分析研修会 受講者アンケート結果

2026 年 7 月 11 日に開催した QuickSAFER 分析研修会にご参加いただいた方々からのアンケート結果を生成 AI を利用してまとめました。今後、当該研修を受講されます皆さまのご参考になれば幸いです。

アンケート結果の概要

主な評価項目	アンケート結果
研修全体の評価	「満足」 67.4%／「やや満足」 32.6%
講義（座学）の評価	「満足」 69.6%／「やや満足」 30.4%
QuickSAFER の理解度	「理解できた」 32.6%／「やや理解できた」 65.2%
現場での活用	「活用できる」 39.1%／「サポートがあれば活用できる」 58.7%
研修時間	「ちょうど良い」 69.6%

1. 実践的で分かりやすい研修内容

研修全体は、31 名（67.4%）が「満足」、15 名（32.6%）が「やや満足」と回答しました。講義（座学）も、32 名（69.6%）が「満足」、14 名（30.4%）が「やや満足」と回答し、すべての回答者から肯定的な評価が得られました。

自由記述では、「説明や資料が分かりやすかった」「具体的な事例を通して学べた」「講義と演習がコンパクトにまとまっていた」といった声が多く、初めて学ぶ方から復習目的の方まで、幅広い受講者にとって学びやすい内容であったことがうかがえます。

2. QuickSAFER 分析手法への理解

理解度は、「理解できた」15 名（32.6%）、「やや理解できた」30 名（65.2%）、「どちらでもない」1 名（2.2%）でした。

ヒューマンエラーの考え方、行動の背景を分析する視点、情報整理表や背後要因関連図の作成手順などへの理解が深まったとの意見が寄せられました。一方、実際に自分で分析するには繰り返しの演習や実践が必要との声もあり、本研修が分析手法を学ぶ第一歩として役立っていることが分かります。

3. 現場で活用しやすい分析手法

現場での活用は、18 名（39.1%）が「活用できる」、27 名（58.7%）が「サポートがあれば活用できる」、「どちらでもない」は1 名（2.2%）でした。

「短時間で取り組みやすい」「行動の理由を理解するために活用できる」「インシデント報告を分析し、医療安全の質向上につなげたい」といった声がありました。実践には、ファシリテーターの支援、スタッフの育成、情報整理表や関連図の作成に慣れるための経験も必要との意見が寄せられています。

4. 研修時間とオンライン開催

研修時間は、32 名（69.6%）が「全体的にちょうど良い」と回答しました。「時間が短い」は 12 名（26.1%）、「どちらでもない」1 名（2.2%）、「時間が長い」1 名（2.2%）でした。

「午前中に集中して受講できた」「休憩があり集中できた」「移動時間がなく参加しやすい」とオンライン形式を評価する声がありました。一方、演習事例や分析・質疑応答の時間を増やしてほしいという要望もあり、受講者の学習意欲の高さがうかがえます。

5. 受講者の声

「具体的な事例を通して解説・演習でき、大事なポイントを繰り返し学ぶことができました。」

「報告された事例をどのように分析すればよいか迷っていましたが、取り掛かるきっかけになりました。」

「当事者がなぜその行動を正しいと判断したのか、その背景を考えることの大切さが分かりました。」

「講義と演習がコンパクトにまとまっており、オンラインでも参加しやすい研修でした。」

「今回の学びを現場で生かし、医療安全の質向上につなげたいと思います。」

6. このような方におすすめです

- ・ 医療安全管理者、医療安全推進担当者、リスクマネージャー
- ・ インシデント事例の分析方法を基礎から学びたい方
- ・ より実践的で取り組みやすい分析手法を探している方
- ・ ヒューマンエラーや行動の背景を踏まえた分析を身につけたい方
- ・ 院内研修や医療安全委員会で活用できる手法を学びたい方

7. 今後の研修への期待

模擬事例や演習教材の充実、複数事例を用いた演習、自身が分析した事例への助言やフォローアップ、地域を広げた研修開催などへの要望が寄せられました。また、「ほかの研修にも参加したい」「今後も同様の研修を開催してほしい」といった声もあり、継続的な学習機会への期待が示されています。

なお、ご不明な点等ございましたら下記 URL よりお問い合わせをお願いいたします。

[ImSAFER 研究会 お問い合わせフォーム](#)